



# 2018年3月期 会社説明資料

証券コード:6998

2018年6月5日



日本タングステン株式会社

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 業績の概要  
(2018年3月期)
4. 剰余金の配当、配当方針
5. 2020中期経営計画

## 1. 会社概要

## 2. 事業内容

## 3. 業績の概要

(2018年3月期)

## 4. 剰余金の配当、株式の状況

## 5. 2020今後の取り組み

# 会社概要

社名	日本タングステン株式会社（証券コード：6998）
創立	1931年4月1日（創立87周年）
本社	福岡市博多区美野島1丁目2番8号
代表	取締役社長 後藤 信志
事業内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. タングステン、モリブデン、その他の金属の精製加工並びに販売</li><li>2. ファインセラミックその他窯業製品の製造並びに販売</li><li>3. 不動産の賃貸および管理</li><li>4. 太陽光発電事業</li></ol>
資本金	25億950万円
売上高	111億円（連結 2018.03現在）
従業員数	486人（連結 2018.03現在）
発行株式総数	2,577千株
株主数	2,986名（2018.03現在）
株式市場	東証（第2部）、福証 コード6998

# 創業までの経緯

当社の創立者の一人である秋山英二は、熊本高等工業学校（現熊本大学）の冶金科を卒業後、当時の久原鋳業（現JX金属株）の日立精錬所で勤務していました。

大正9年4月、タングステンの有望性に着目、新生の日本冶金株（東邦金属株の前身）に移り、ここでアメリカから招かれた技術顧問ロジャース氏の指導を受け、この分野で日本有数の技術者となります。

昭和5年春、秋山は照明用タングステン線だけでなく、電気接点や複合金属・加工品も手掛けたい思いから会社設立の構想

を抱き、(株)戸上電機製作所の戸上信文社長の理解と同社の大きな支援のもと、昭和6年4月1日の当社設立※に尽力しました。現在の本社ビルは創業時の工場跡地に建設しております。

(※戸上氏は当社初代社長に就任)



1931年  
創業当時の工場全景  
(福岡市住吉)



若き日の秋山英二



現在 本社ビル  
(博多区美野島)

## 日本タングステン株式会社 経営理念

### ■ 企業理念 | Our Corporate Philosophy

---

日本タングステンは、  
世界の人々と従業員の明るい未来を実現するために  
- マテリアルからはじまる価値創造に挑戦し続けます。  
- 常にNo.1を目指し、かけがえのない存在であり続けます。

### ■ 行動規範 | Our Way

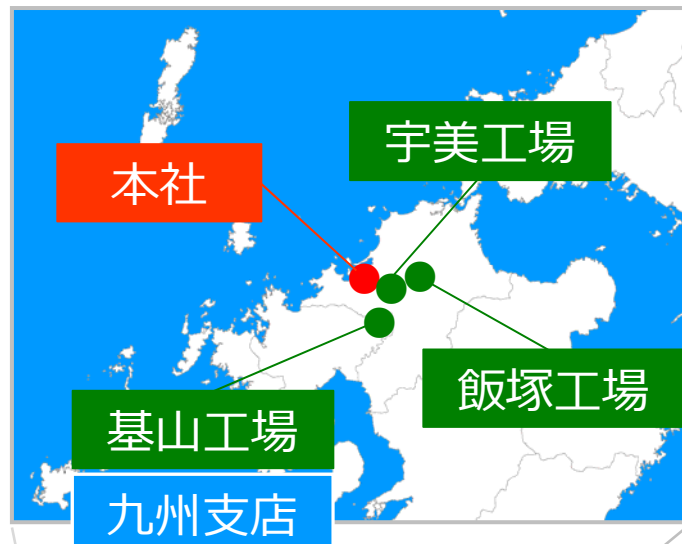
---

- ・ 私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。
- ・ 私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。
- ・ 私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。

# 国内事業所



本社



基山工場



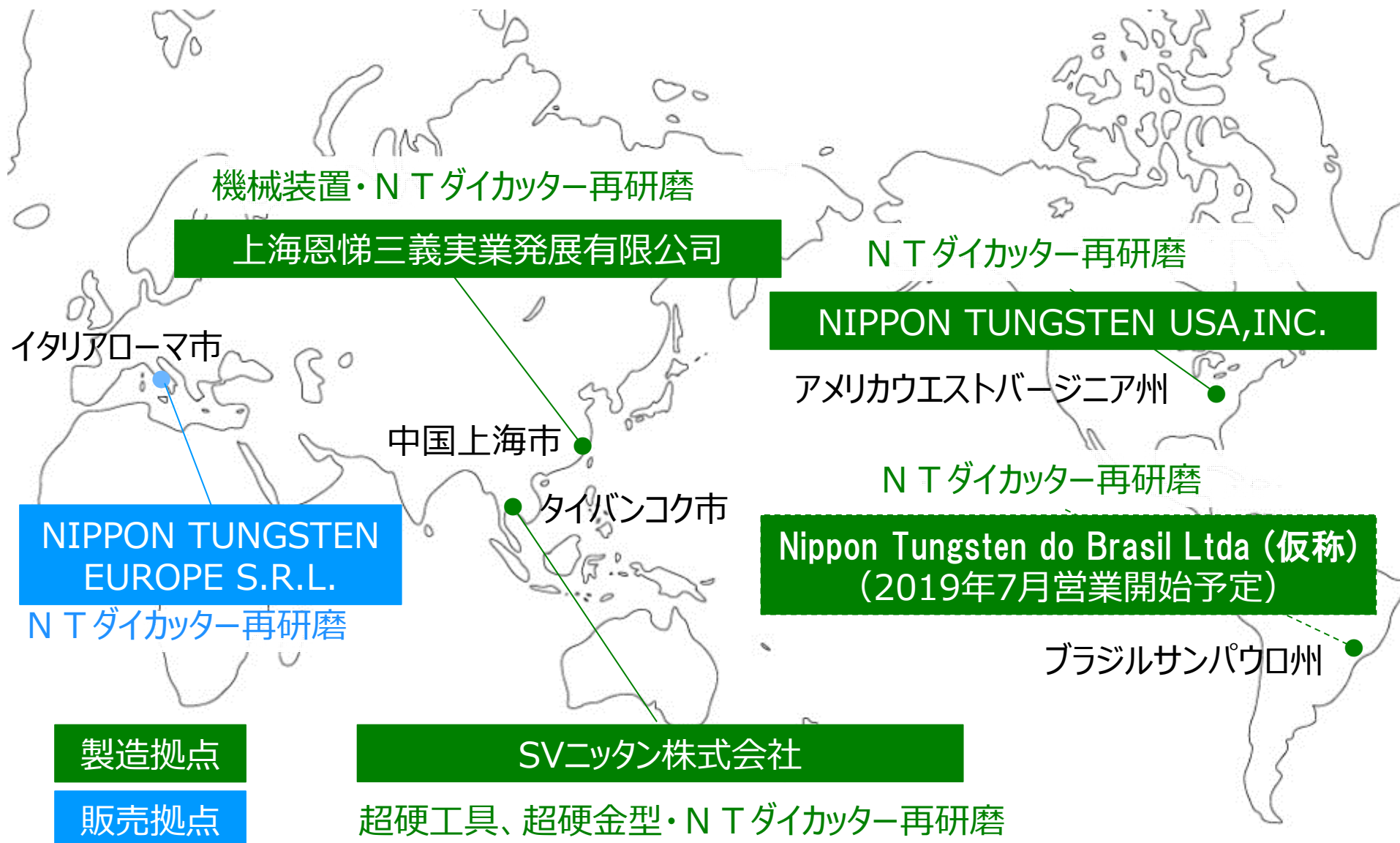
飯塚工場



宇美工場



# 海外事業拠点





1. 会社概要
- 2. 事業内容**
3. 業績の概要  
(2018年3月期)
4. 剰余金の配当、株式の状況
5. 2020中期経営計画

# タングステンは？

スウェーデン語で「**重い石**」を意味する金属です。

その名のとおりに「重い」という特徴を含め、次の特徴があります。

## タングステンの特徴

1



### 熱に強い！

3380℃が溶ける温度！  
鉄は約1500℃で溶ける

2



### 硬い！

炭素とくっつくと非常に硬くなる！  
ダイヤモンドに次ぐ硬さ！

3

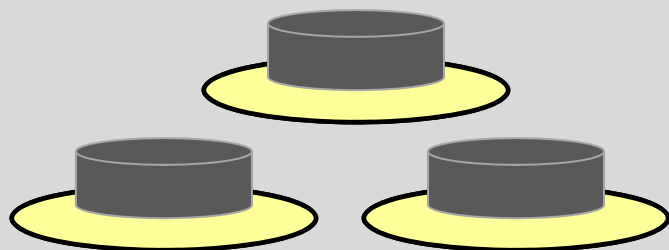


### 重い！

同じ大きさの鉄の2.5倍、鉛の1.7倍。  
金とほぼ同じ重さ。

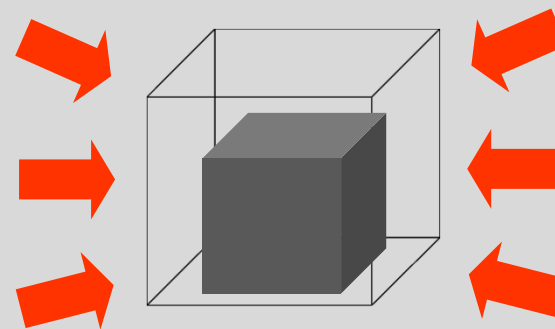
# 粉末冶金製品の製造工程

## 粉末・混合



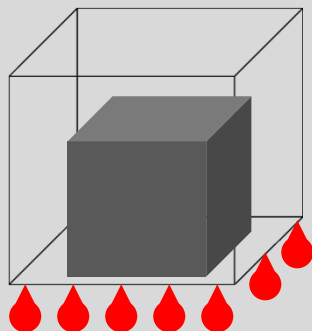
1

## 成形



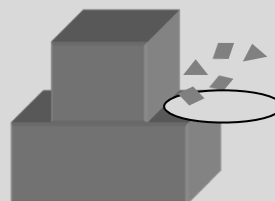
2

## 焼結



3

## 加工



4

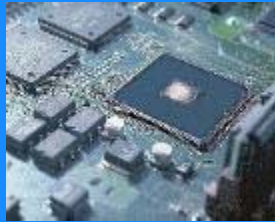
## 製品形状



5

# 当社の事業ドメインと製品

## ■ 半導体



静電  
チャック

## ■ 衛生用品



NTダイカッター

## ■ エネルギー



耐食・  
耐摩耗製品

## ■ 産業機器



ウルトラ  
ファインバブル  
クーラントシステム



基山工場

## ■ インフラ



高電圧用  
接点

## ■ 自動車



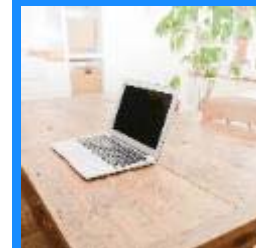
抵抗溶接  
電極

## ■ 医療



タングステンリボン

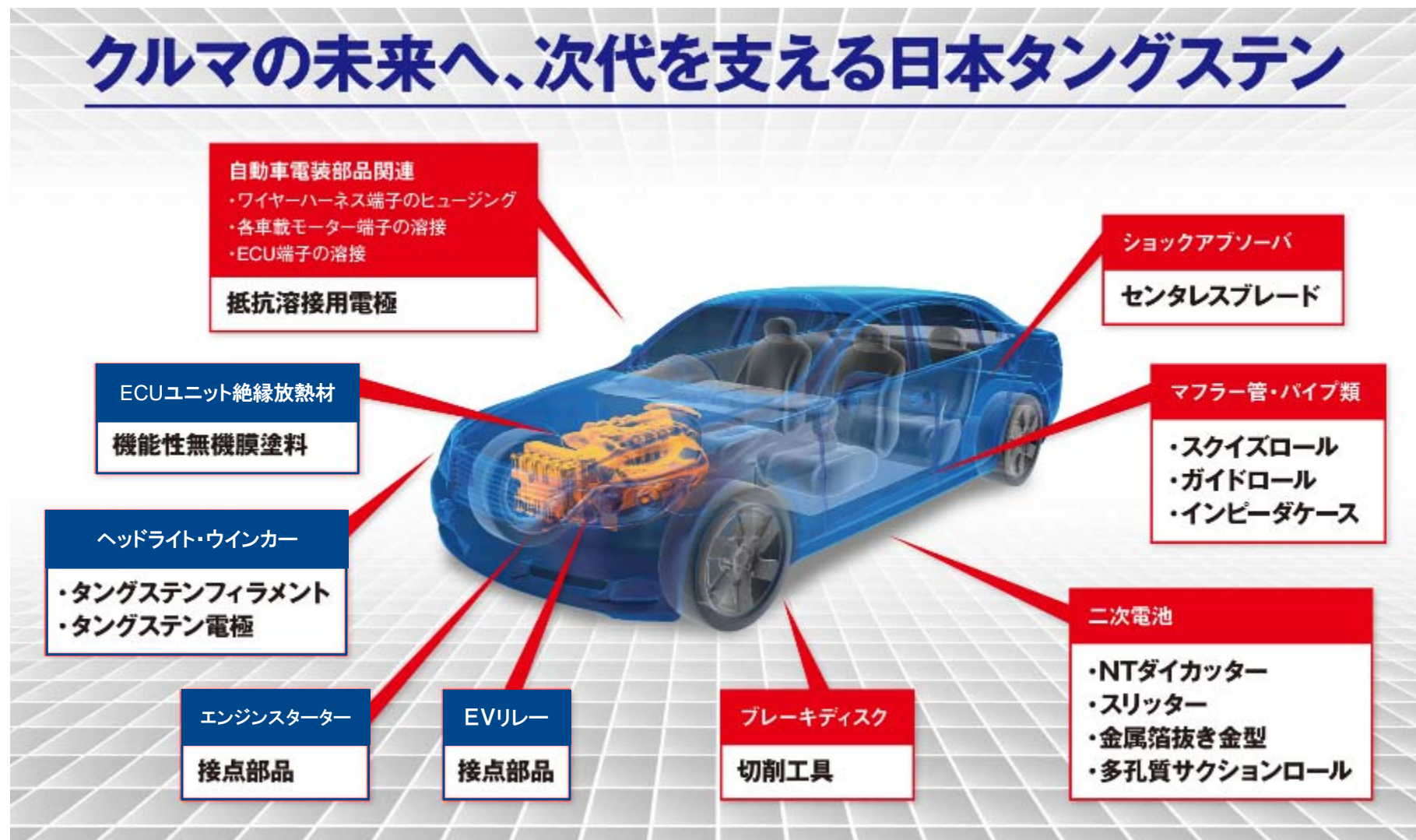
## ■ 電子部品



ハードディスク  
ドライブ用  
磁気ヘッド基板

# 当社製品の一例（自動車）

## クルマの未来へ、次代を支える日本タングステン



※青ワクの製品は部品として使用されています。



## 超硬合金製品

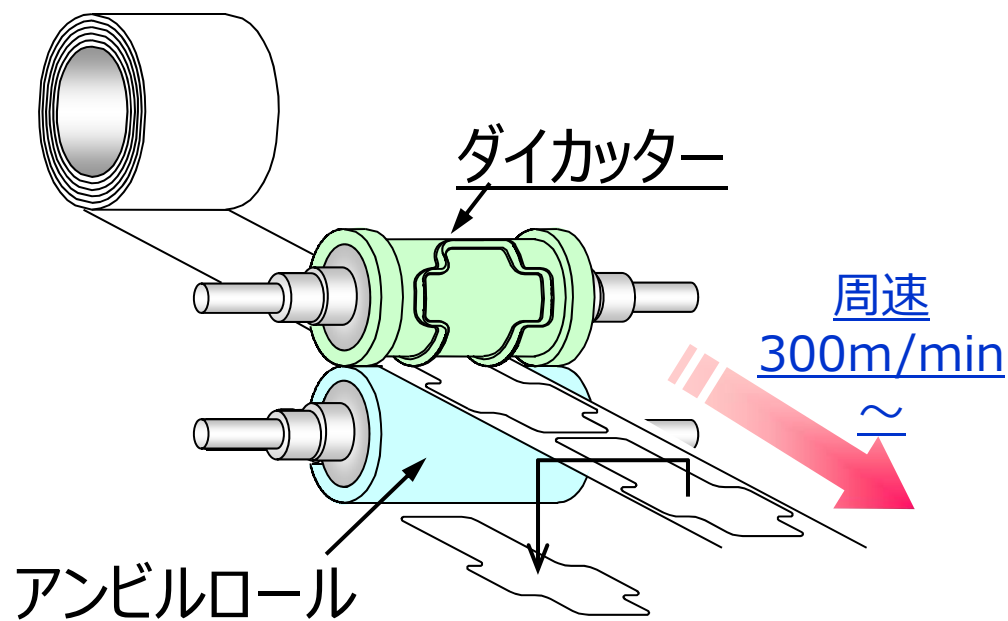
### Cemented carbide material products

金属の強靱さとセラミックスの耐摩耗性を合わせ持った超硬合金を製造しています。オリジナル耐摩耗・耐食性超硬と精密技術が特徴です。





## NTダイカッター



NTダイカッターは1986年、世界に先駆けて、独自の粉末冶金・高精度加工技術により商品化された高性能超合金製ロータリーカッターで、不織布・紙・ポリマー・金属箔などの高速輪郭加工が可能です。

紙おむつ・ナプキン製造用カッター（超合金）のグローバル市場で高いシェアを誇る当社の主力製品です。

# 製品紹介（超硬合金の主な製品）

## 耐食・耐摩耗製品



用途例：産業用ポンプ

## 長尺超硬製品（コーターバー）



用途例：液晶製造用塗布ヘッド

## 超硬合金製切削工具



用途例：切断用刃物

## 高温成形金型



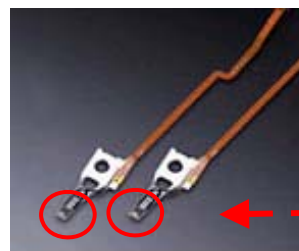
用途例：ガラスレンズモールド

## セラミック製品 Ceramic material products

高強度、耐食性、耐摩耗性に優れたセラミック製品。構造用セラミックスのほかに、電気特性を利用した複合セラミックスを製造しています。



## ハードディスクドライブ用磁気ヘッド基板



パソコンなどの記録メディアであるハードディスクドライブにデータの読み書きを行う磁気ヘッドが搭載されており、このヘッドに当社のセラミックスが一般的に用いられています。

磁気ヘッド基板の**世界シェアは75%**（自社推計）で世界中の磁気ヘッドに広く使用され、高い評価をいただいています。

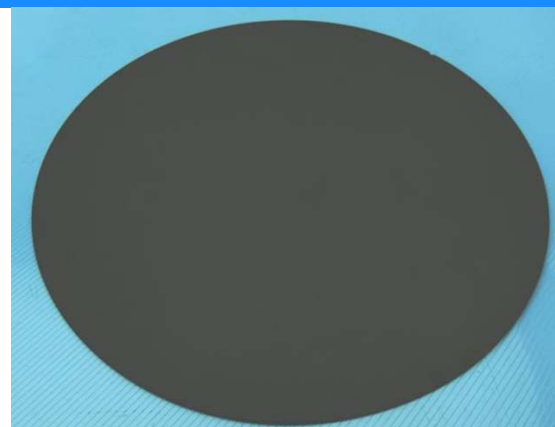
# 製品紹介（セラミックの主な製品）

## 多孔質セラミック真空チャック



用途例：フィルム検査・搬送装置

## 耐プラズマ材料製品 **NEW**



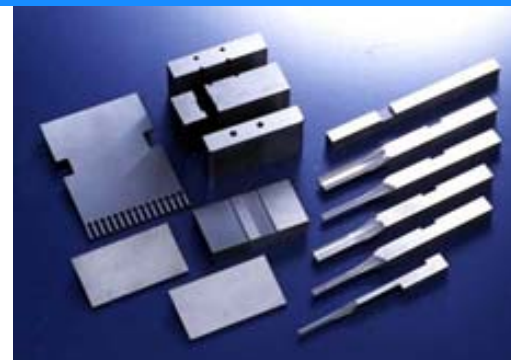
用途例：半導体製造装置部材

## 造管用セラミックロール



用途例：鋼管製造用ガイドロール

## プレス金型用セラミック



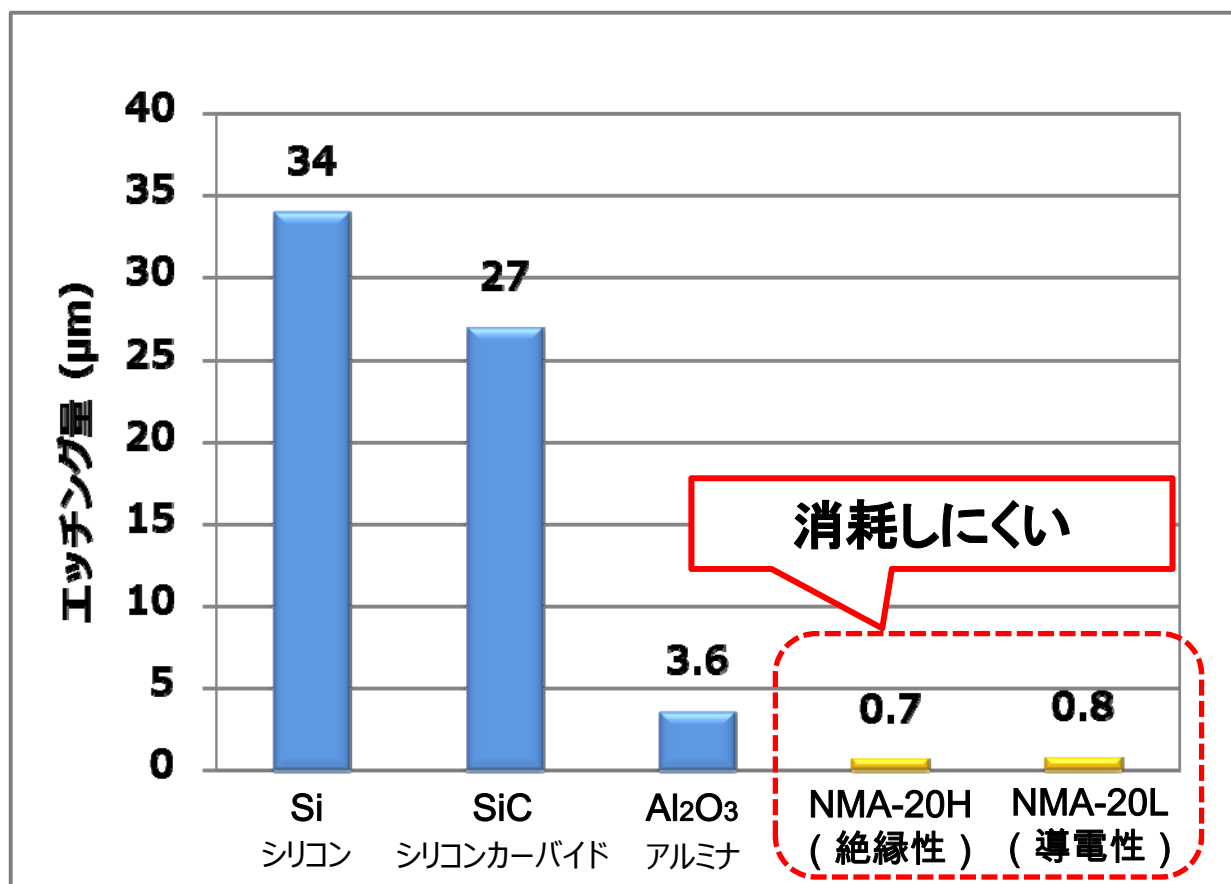
用途例：銅系部材用金型



# 製品紹介（半導体関連）

## － NMAシリーズ － プラズマ耐性に優れたMgO系セラミックス

各種セラミックスのプラズマ耐性



### エッチング条件

装置：平行平板型反応性  
イオンプラズマ  
エッチング装置

ガス：CF<sub>4</sub>

圧力：10Pa

出力：1000W

時間：130分間



## 金属材料製品

### Metallic Material (W/Mo) Products

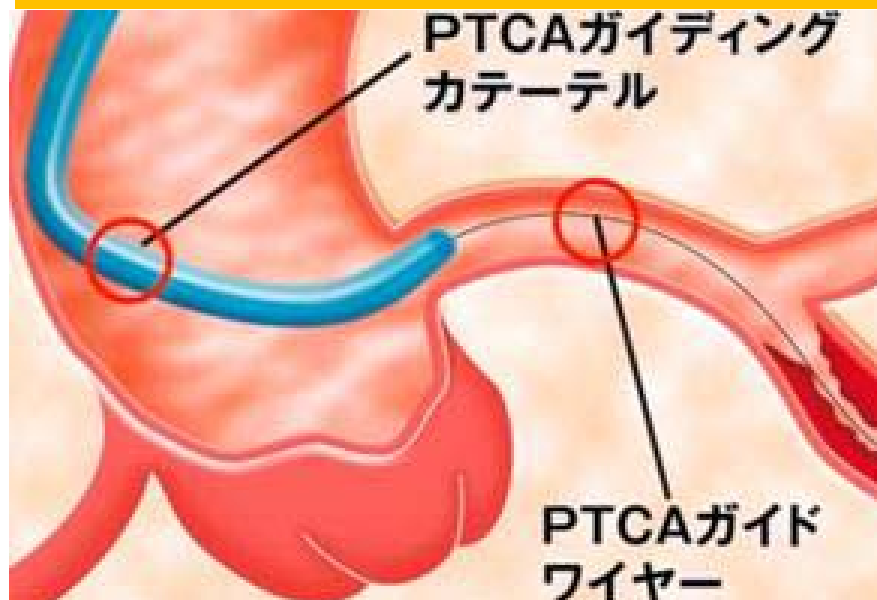
タングステンの持つ高い耐熱性、電気特性を利用したハロゲンランプ用ワイヤー、OA機器用（プロジェクターランプ用ワイヤー）、医療用（カテーテル）、ヒーター用等を製造しています。



## タングステンリボン

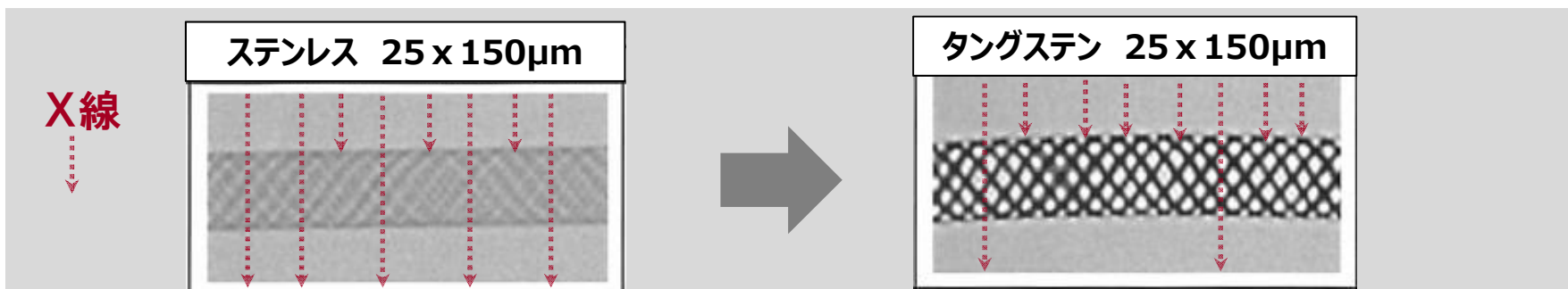
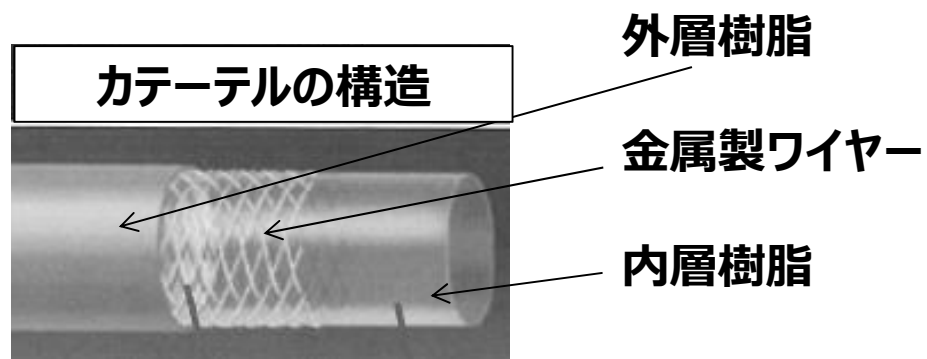
— 体にやさしい(低侵襲)医療に役立っています —

### 血管狭窄(きょうさく)手術



タングステンの特徴を生かした細くて薄い線やリボンが、色々なカテーテル治療に役立っています。  
細い血管を通り、確実に患部に到着させます。

## タングステンリボン ーカテーテル素材への用途展開ー



\* タングステンは鉄の2.5倍の重さがあり、その特徴で、同じ条件下でX線を照射したモニターでは2.5倍クリアに見えます。

\* X線照射量を減らすことで、体の負担が軽減されます。

# 製品紹介（金属材料の主な製品）

## タングステンワイヤー



用途例：電球のフィラメント

## タングステン棒



用途例：放電灯用電極  
抵抗溶接電極

## コロナ放電タングステンワイヤー



用途例：空気清浄機用部材

## 電気・電子材料製品

### Electric and Electronic Parts Material Products

スイッチの接点、抵抗溶接電極、EVリレー用接点等の用途として、電気伝導性に優れた銀や銅と、耐熱性に優れたタングステンを組合せた複合材料を提供しています。

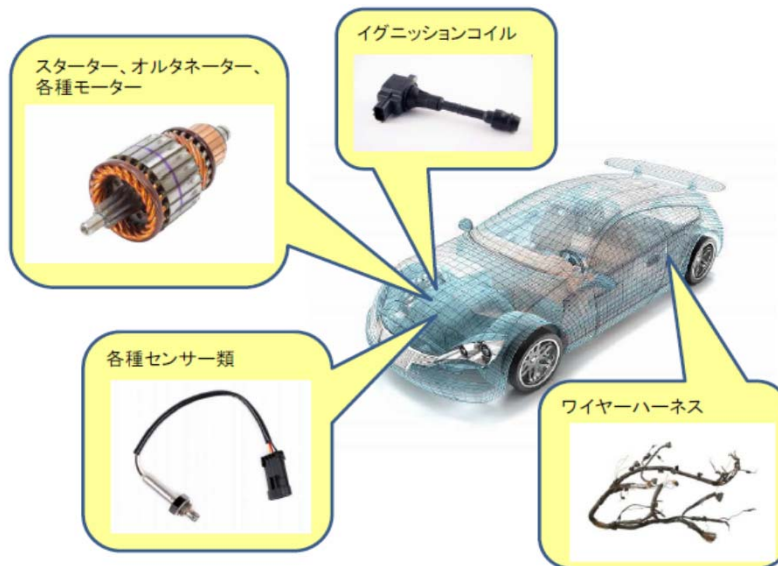
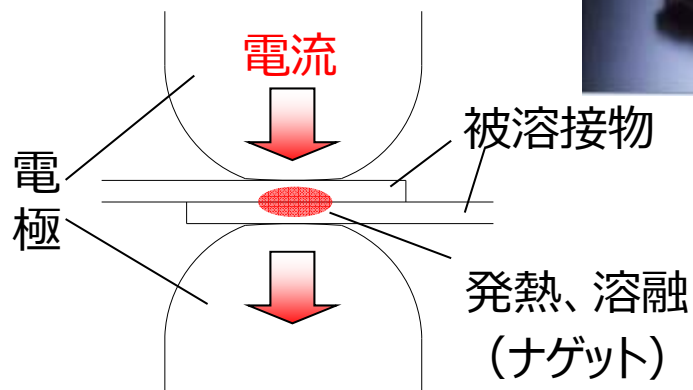




# 製品紹介（電気・電子材料の主な製品）

## 抵抗溶接電極

抵抗溶接のイメージ図



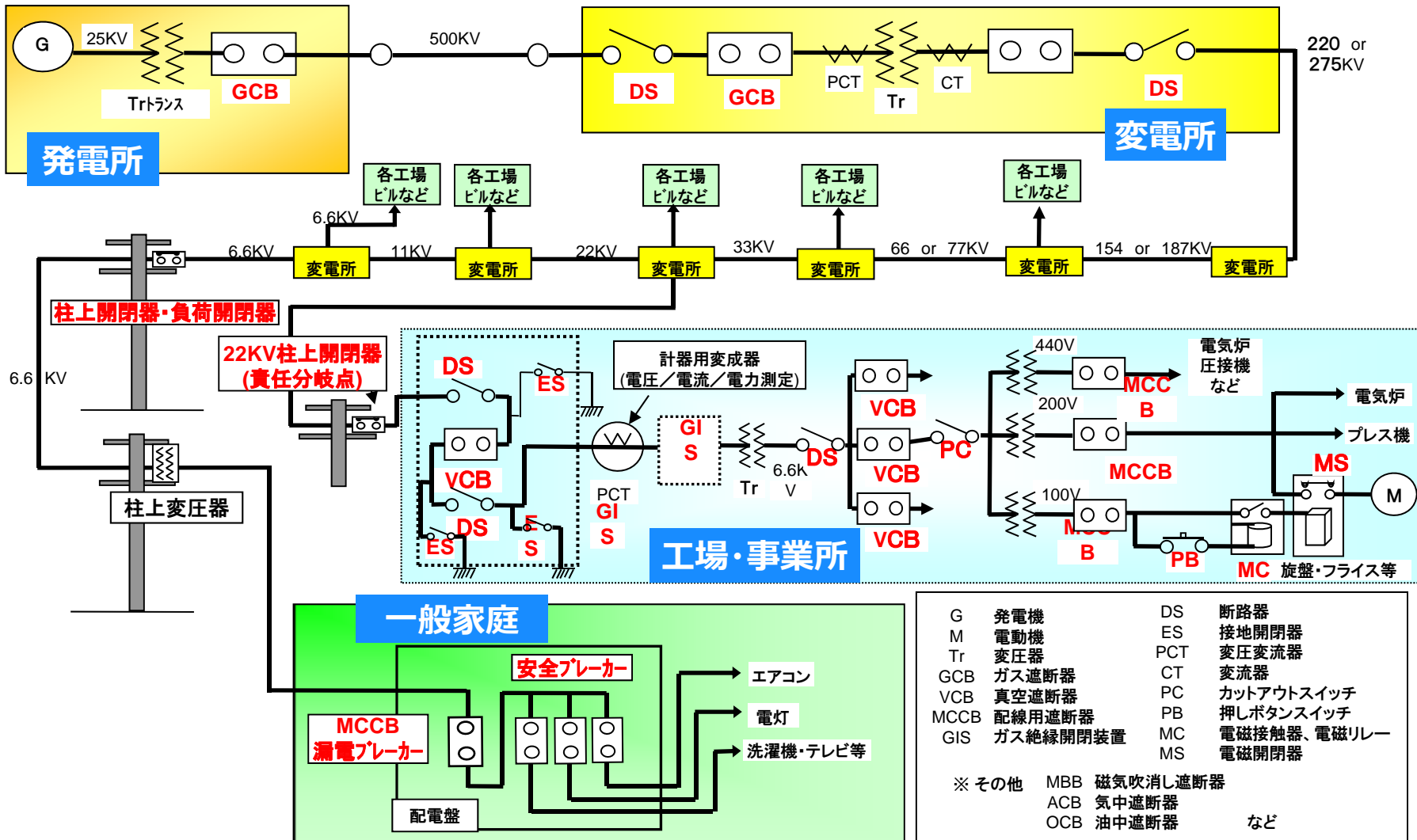
タングステン系の電極は、主に自動車電装部品の溶接工程で用いられています。

当社の抵抗溶接電極は長寿命化や生産効率の向上に寄与しています。



# 製品紹介 (電気・電子材料製品)

## 発電所から家庭まで



# 製品紹介（電気・電子材料の主な製品）

## 高電圧用接点



用途例：重電遮断器用接点

## プラズマ電極



用途例：プラズマ発生用電極

## ヘビーアロイ



用途例：樹脂製造用部品  
半導体製造用部品

# 製品紹介（電気・電子材料の主な製品）

## 樹脂タングステンシート



樹脂タングステンマット



樹脂タングステンシート



樹脂タングステントープ

### 用途例

#### 放射線遮へい材として

原子力発電所 定期検査作業用

X線装置用（工業用、医療用）

電子線装置用（工業用・医療用）

#### ウェイト・制振部材として

制振部材

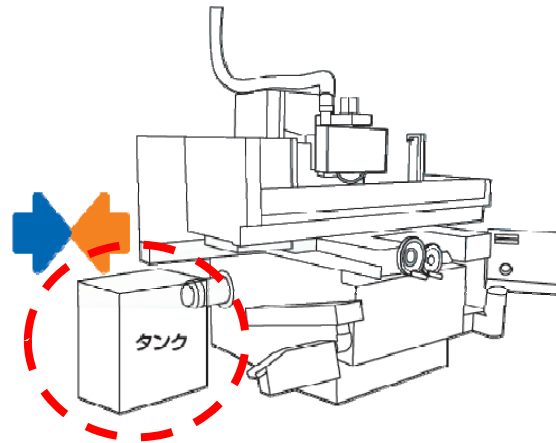
バランス調整ウェイト

民生用部材（スポーツ用品・音響用）

福島原発被災の際、陸上自衛隊のヘリコプターが水を投下しましたが、この時、被ばく防止のため、ヘリコプターの床一面に当社の「樹脂タングステン」が使用されました。

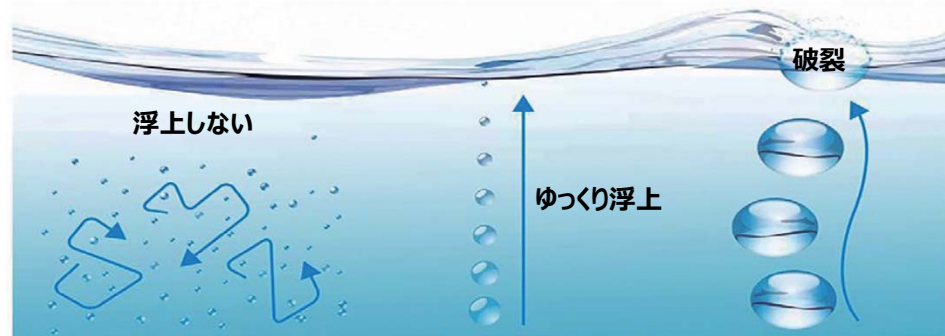
# 製品紹介（産業用機器）

## ウルトラファインバブル（UFB）クーラントシステム



- \* ウルトラファインバブル（UFB）を加工に応用することで、**研削能率は1.5倍以上・切削能率は1.4倍以上**に改善。
- \* UFBは未解明な点が多く、学術的解明が続けられていますが、**砥石の寿命延長と臭気防止**の効果が得られています。

※既存の加工機に接続するだけで使用可能な設計となっています。



ウルトラ  
ファインバブル

直径1 $\mu$ m未満  
微細な熱運動の為に  
浮上せず消滅しない

マイクロ  
バブル

直径1 $\mu$ m～100 $\mu$ m未満  
浮力の為にゆっくり浮上し  
やがて消滅する

ファインバブルより  
大きいバブル

直径100 $\mu$ m以上  
発生とともに  
浮上してしまう

「ファインバブル」は、我々が日常目にする泡よりも小さい泡です。具体的には直径0.1mm（100 $\mu$ m）より小さな泡を「ファインバブル」と呼びます。さらに1 $\mu$ m～100 $\mu$ mを「マイクロバブル」、1 $\mu$ m未満を「ウルトラファインバブル」と呼び区別しています。

「マイクロバブル」は水が白く濁ったようになり目で確認できますが、「ウルトラファインバブル」は肉眼で見ることができない大きさです。この呼称も国際基準として制定されようとしています。

（出典：一般社団法人 ファインバブル産業会「ファインバブル産業会のご案内」）

1. 会社概要
2. 事業内容
- 3. 業績の概要  
(2018年3月期)**
4. 剰余金の配当、株式の状況
5. 2020中期経営計画

海外では

- ・地政学的リスクの残る不透明な状況が続いたが、米国の雇用情勢や個人消費は底堅く、欧州でも輸出が増加
- ・景気は徐々に回復傾向

国内では

- ・海外経済の回復を背景に輸出が増加
- ・雇用環境が改善
- ・緩やかな回復基調で推移



# 2018年3月期決算概要

## ● 損益の状況

(単位:百万円)

連結業績	2017年 3月期	2018年 3月期	増減額 (増減率)
売上高	10,124	11,102	977 (9.7%)
営業利益	473	755	282 (59.5%)
経常利益	575	980	405 (70.5%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	469	696	227 (48.4%)

### 《 期末の状況 》

#### ◆ 売上高: 増収

機械部品事業、電機部品事業ともに好調に推移し、前年度と比較して増収

#### ◆ 損益: 増益

売上高の増加に加え、生産効率の改善等、コスト削減対策を行った結果、前年度と比較して増益

## ● 財務の状況

(単位:百万円)

科目	2017年 3月期	2018年 3月期	増減額
総資産	14,836	16,306	1,469
負債	5,858	6,727	869
純資産	8,978	9,578	600

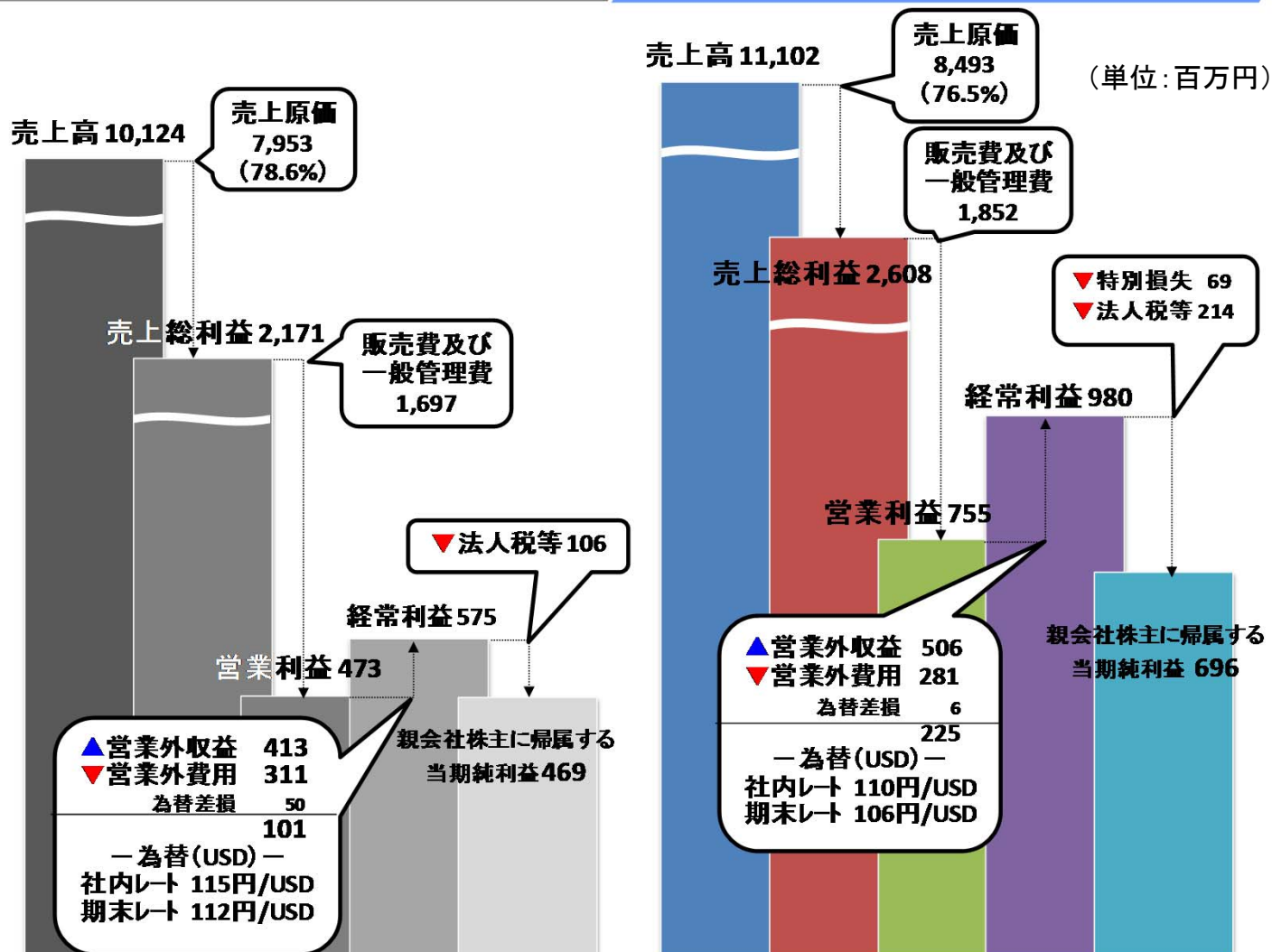
### 《 期末の概況 》

- ・総資産: 前期末比、1,469百万円増加  
(流動資産、固定資産ともに増加)
- ・負債: 前期末比、869百万円減少  
(流動負債は増加、固定負債は減少)
- ・純資産: 前期末比、600百万円増加

# 損益の概況 (連結)

2017年3月期

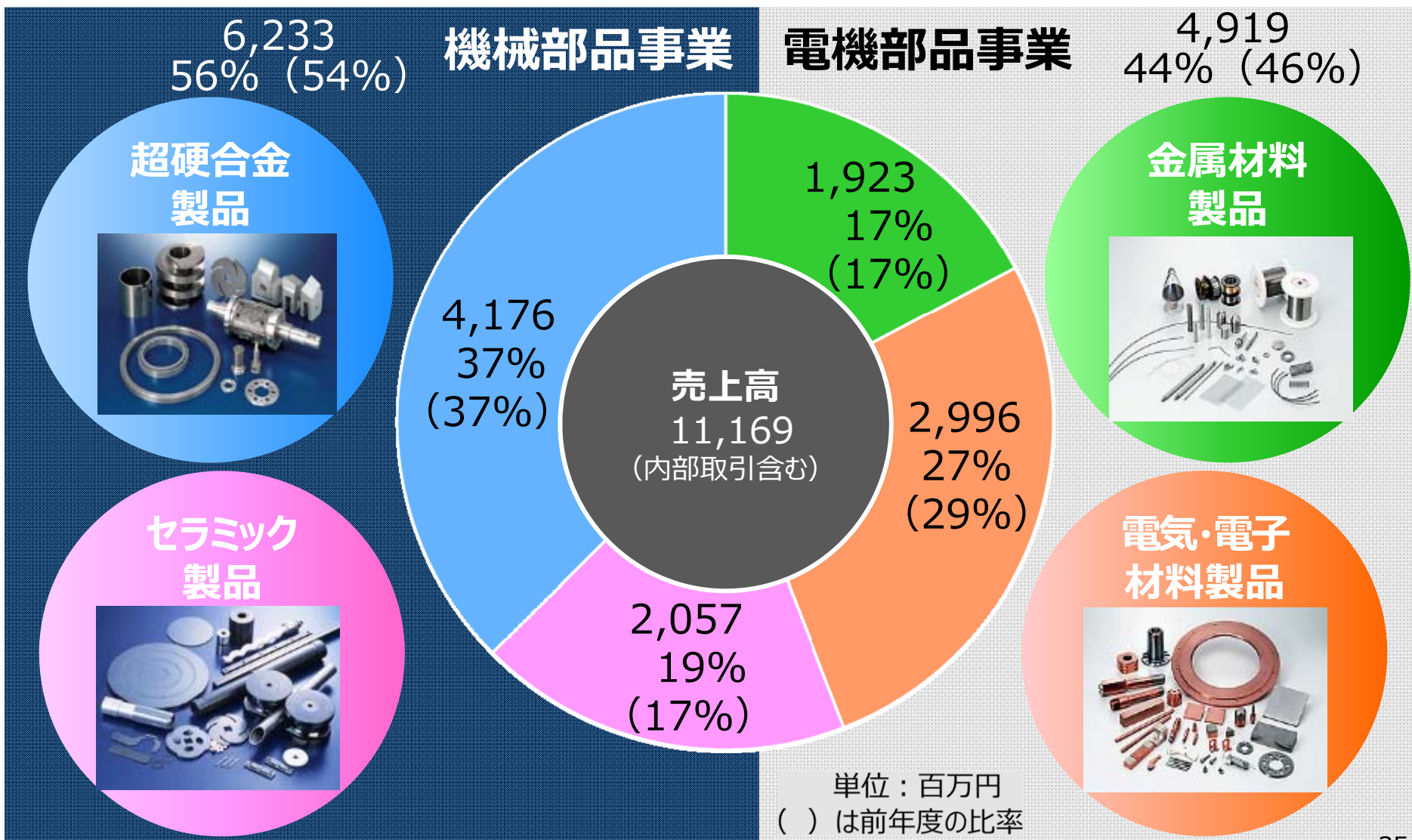
2018年3月期



項目	要因
売上総利益	連結各社売上高増加により増益
営業利益	単体の販管費が増加するも売上高増加により増益
経常利益	為替差損の減少、恩悌上海清算終了に伴う為替換算調整勘定の取崩益計上等により営業外損益が大きく改善し、増益
親会社株主に帰属する当期純利益	特別損失の計上や法人税等が増加するも、各利益が増加し、増益

# セグメント別の状況（連結）

## 2018年3月期 セグメント別売上高



# セグメント別の状況（連結）

## 機械部品事業



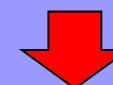
情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板  
HDDの需要回復により増収



電子部品関連の金型製品  
精密金型、液晶用コーターバー等好調に推移



衛生用品関連のNTダイカッター  
海外は欧州での拡販活動等で増収となるも、国内は設備投資の一服感から低調に推移し、全体として売上高は微減



	2017年3月期	2018年3月期	対前年比
売上高 (百万円)	5,478	6,233	755 (13.8%)
営業利益 (百万円)	623	953	330 (52.9%)

※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

# セグメント別の状況（連結）

## 電機部品事業



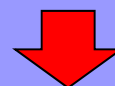
電子部品関連の電極製品



国内、海外ともに好調で増収



自動車関連の接点製品



EV用接点が中国市場での在庫調整により減収

	2017年3月期	2018年3月期	対前年比
売上高 (百万円)	4,691	4,919	228 (4.9%)
営業利益 (百万円)	292	281	▲10 (▲3.7%)

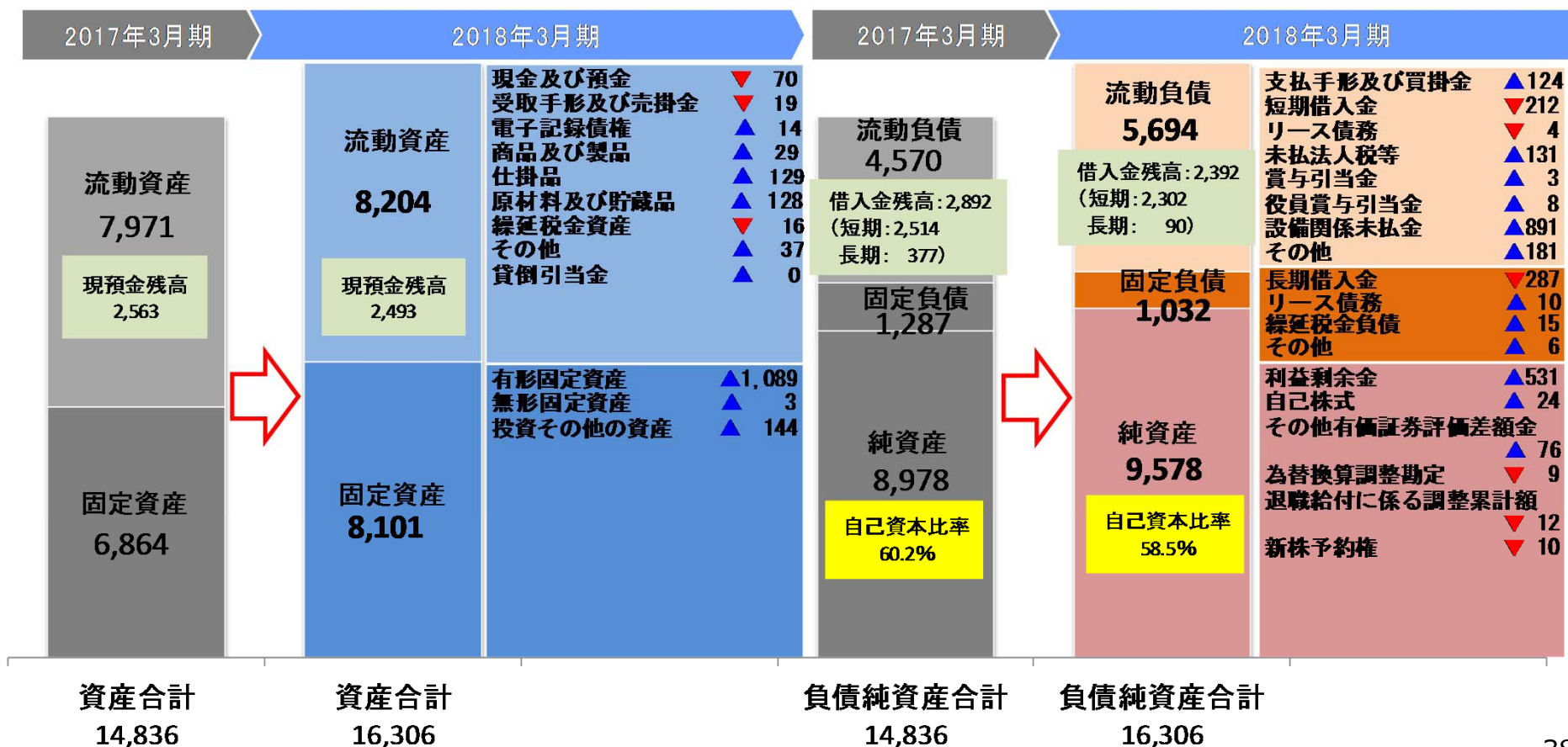
※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



# 財務の状況（連結）

（単位：百万円）

科目	2017年3月期	2018年3月期	対前年比
総資産	14,836	16,306	1,469
負債	5,858	6,727	869
純資産	8,978	9,578	600

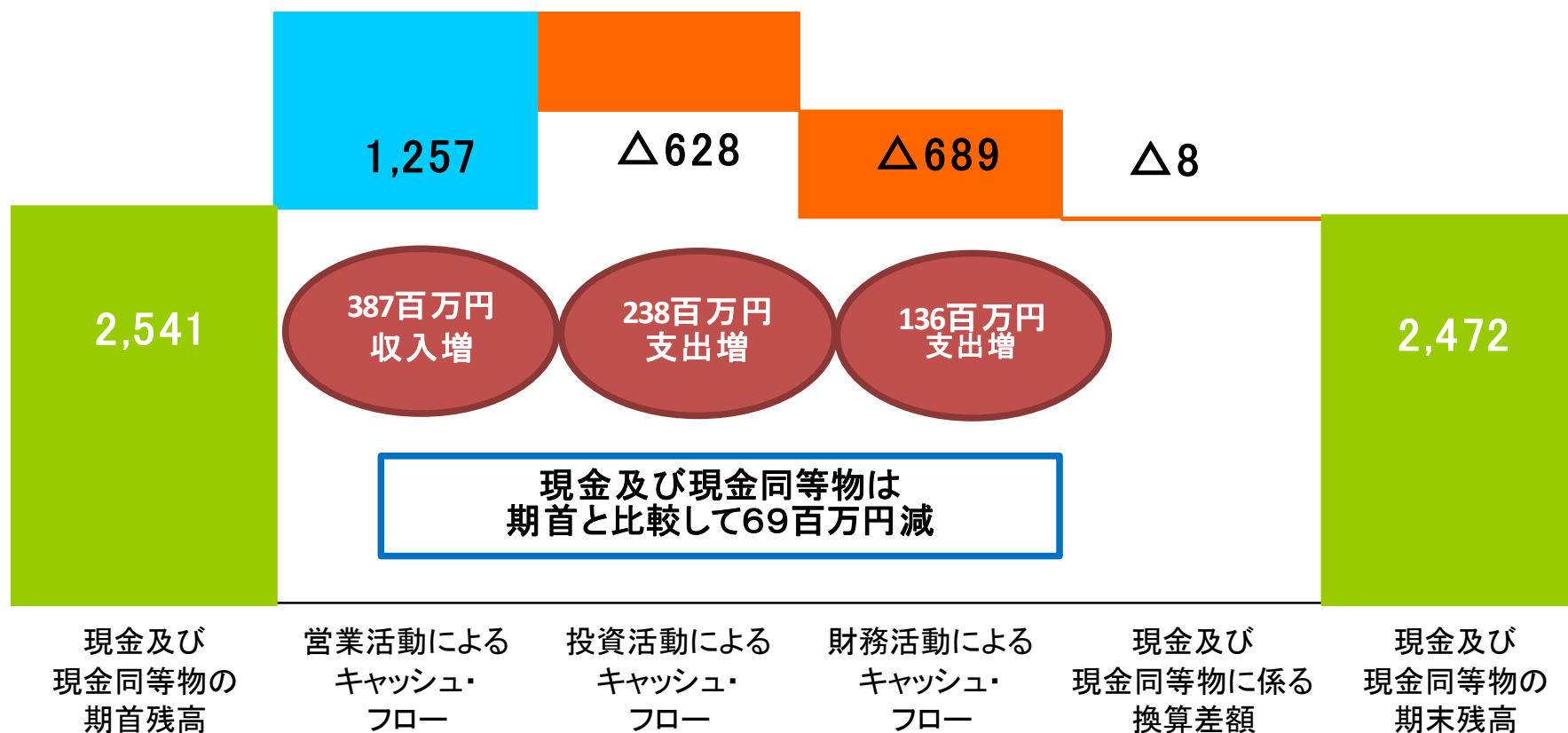




# キャッシュフローの状況（連結）

2018年3月期

(単位:百万円)



※増減は前年比

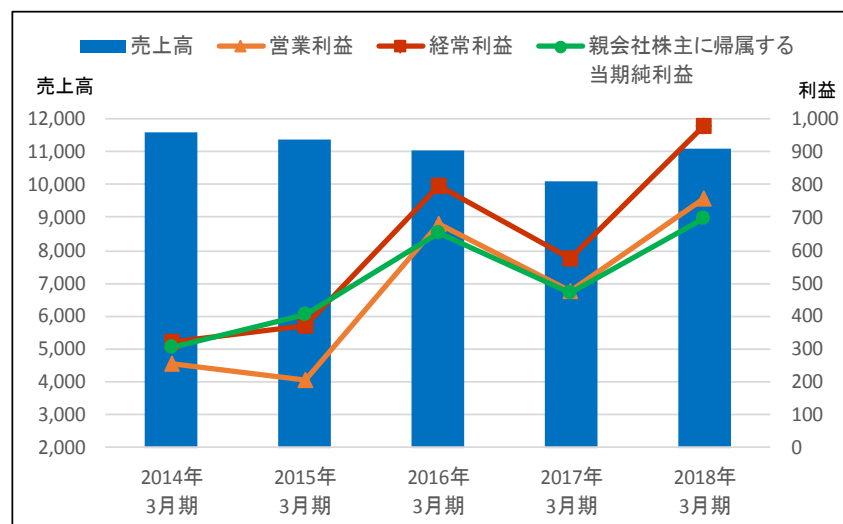
# 業績の概要 (連結)

## ■ 経営成績 (連結)

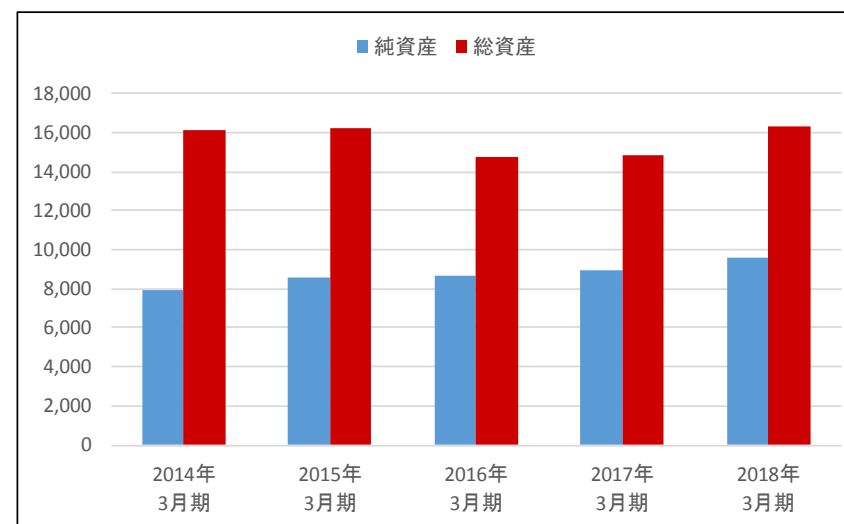
(単位: 百万円)

区 分	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
売 上 高	11,616	11,372	11,022	10,124	11,102
営 業 利 益	256	204	678	473	755
経 常 利 益	320	372	795	575	980
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	303	401	651	469	696
純 資 産	7,950	8,563	8,652	8,978	9,578
総 資 産	16,155	16,177	14,777	14,836	16,306

## ■ 売上高・経常利益・当期純利益



## ■ 純資産・総資産

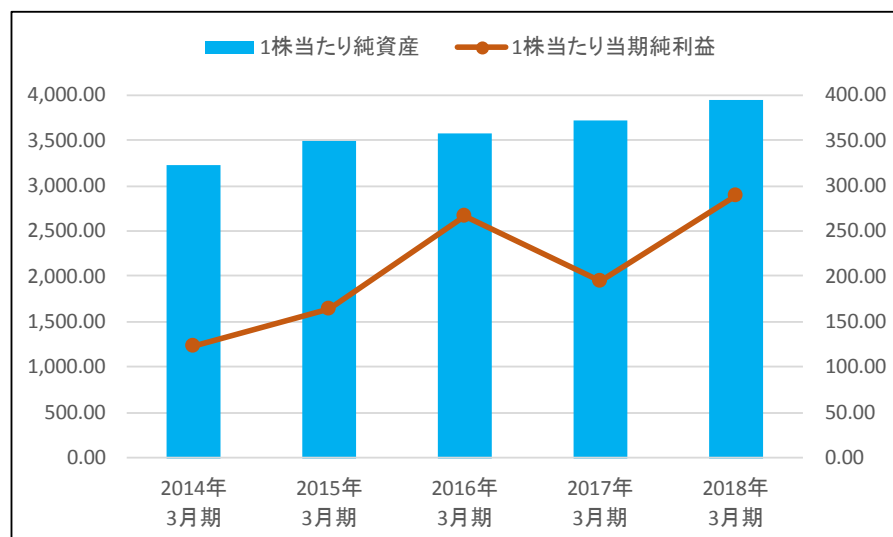


# 業績の概要（連結）

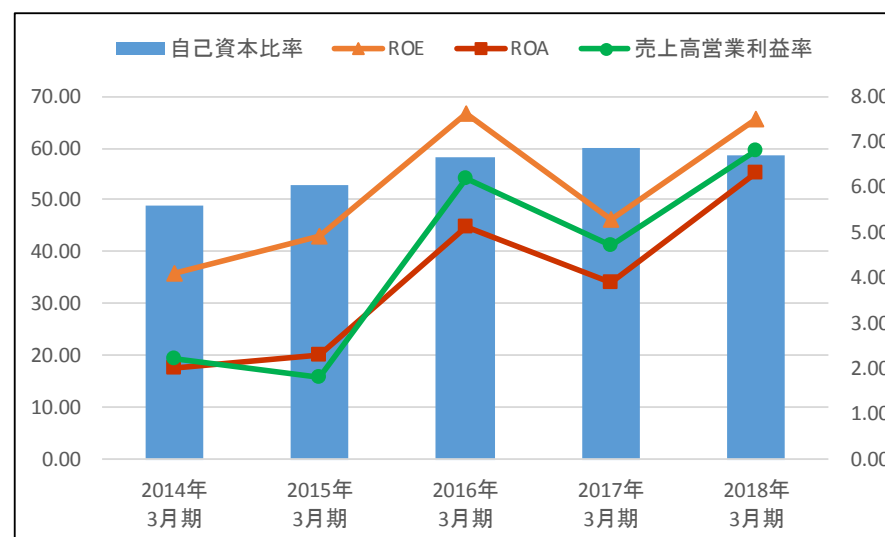
## ■ 経営指標

区 分	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
1株当たり純資産（円）	3,223.59	3,483.29	3,582.89	3,715.00	3,949.26
1株当たり当期純利益（円）	123.87	164.23	266.45	195.02	288.51
自己資本比率（%）	48.80	52.70	58.30	60.20	58.50
自己資本利益率（ROE）（%）	4.10	4.90	7.60	5.30	7.50
総資産経常利益率（ROA）（%）	2.00	2.30	5.10	3.90	6.30
売上高営業利益率（%）	2.20	1.80	6.20	4.70	6.80

## ■ 1株当たり純資産・1株当たり当期純利益



## ■ 自己資本比率・ROE・ROA・売上高営業利益率



# 2019年3月期業績予想

## 【2019年3月期の業績予想】

売上高はダイカッターの拡販等により増収を見込むが、利益は基山工場建屋の増築や積極的な設備投資による減価償却費の増加等により減益を見込む。

		第2四半期	通期	前期実績 (通期)	増減率 (通期)
連 結	売上高 (百万円)	5,500	11,300	11,102	1.8%
	営業利益 (百万円)	320	650	755	△14.0%
	経常利益 (百万円)	400	810	980	△17.4%
	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	280	570	696	△18.1%
	1株当たり 当期純利益 (円)	115.85	235.84	288.51	—

		第2四半期	通期	前期実績 (通期)	増減率 (通期)
個 別	売上高 (百万円)	5,200	10,700	10,540	1.5%
	営業利益 (百万円)	230	470	590	△20.4%
	経常利益 (百万円)	430	780	808	△3.5%
	当期純利益 (百万円)	230	480	581	△17.4%
	1株当たり 当期純利益 (円)	95.16	198.60	240.87	—

※為替レート:110円/USD

1. 会社概要
2. 事業内容
3. 業績の概要  
(2018年3月期)
- 4. 剰余金の配当、株式の状況**
5. 2020中期経営計画

# 2019年3月期配当予想

- 中間配当金は、1株につき30円  
期末配当金は、1株につき30円を予定

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期(予)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	651	469	696	570
中間配当金 (円/株)	2.50	2.00	※ 30.00	30.00
期末配当金 (円/株)	5.00	3.50	50.00	30.00
年間配当金 (円/株)	7.50	5.50	※ 80.00	60.00
配当金総額 (百万円)	181	133	193	145
配当性向 (%)	28.1	28.2	27.3	25.4

※ 2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年3月期中間配当金及び年間配当金は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

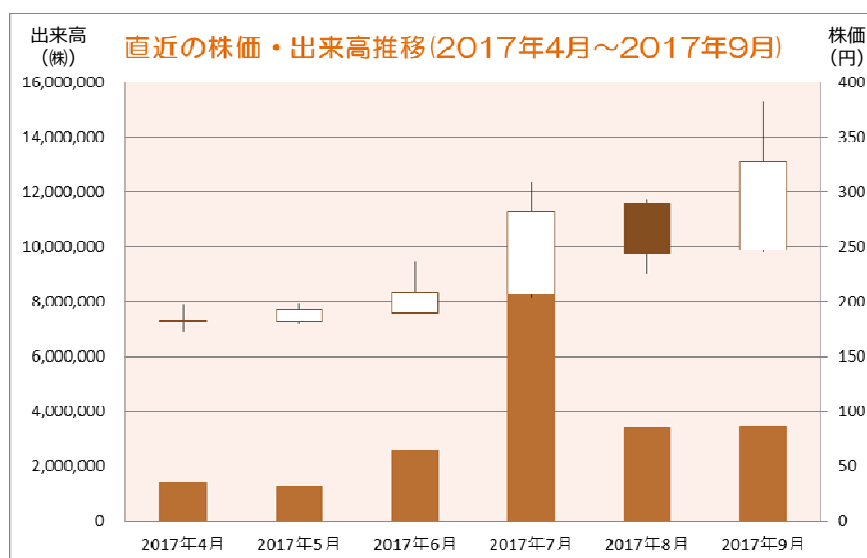


# 株式の状況

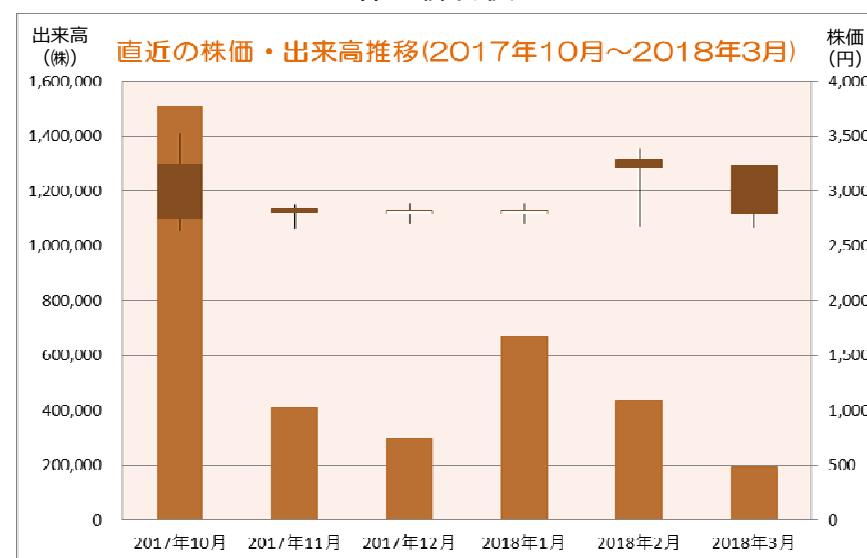
株式指標	発行済株式総数 (18年3月)	2,577千株
	浮動株比率	64.6%
	株価 (3月30日)	2,800円
	1株あたり純資産 (18年3月期)	3,949円26銭
	株価純資産倍率	0.71倍
	1株当たり純利益 (18年3月期)	288円51銭
	株価収益率 (18年3月期)	9.71倍
	1株当たり配当金 (18年3月期)	80.0円
	配当利回り	2.86%

2017年10月1日付で  
普通株式10株につき1株の  
割合で株式併合を実施して  
おります。

株式併合前



株式併合後



1. 会社概要
2. 事業内容
3. 業績の概要  
(2018年3月期)
4. 剰余金の配当、株式の状況
- 5. 2020中期経営計画**

# 2020中期経営計画

当社は、創立100周年(2031年)に向けた飛躍への足かかりとして、2018年度から2020年度までの3ヶ年を対象とする新中期経営計画「**日本タングステングループ2020中期経営計画**」を策定いたしました。2020中期経営計画では4つの基本方針を設定し、最終目標の達成に向けて重点項目について各施策を実行してまいります。

## ●基本方針

### 1 人財の育成

#### 自発的に考え、行動する社員の育成

幅広い視点から深く考える人財を育成し、個人だけでなく組織の課題設定力・課題解決力を向上させていきます

### 3 ものづくりの強化

#### お客様に満足していただける良いものを 安く、早くつくる、ものづくり力

生産効率の向上、コストの削減、品質の安定を図り、収益拡大を目指します

### 2 新商品の創出

#### お客様のニーズをいち早くつかみ、 継続的かつスピーディに新商品を創出

新商品の創出活動を活性化させ、NO.1の価値創造に挑戦します

### 4 グローバル市場での拡販

#### グローバルネットワークの拡大

世界中のお客様へ向けたサービスの提供、販売、製造体制を確立し、売上拡大を目指します

## ● 施策の概要

### 1 人財の育成

#### 役職者の人財育成力の向上

年間を通じた役職者育成教育を実施する

#### 正当な評価制度

頑張った人財が正当に評価される仕組みを強化し、運用する

#### 人事ローテーション

多様な職務経験を通じた各人の成長を支援する

#### 人財の活用

必要な人財を必要な組織に配置するように活用する

行動規範を実践できる人財の育成

## ■ 行動規範 | Our Way

- ・私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。
- ・私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。
- ・私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。

## 2.戦略の概要 2) 新商品戦略

### ● 施策の概要

#### 2 新商品の創出① (3つの施策)

マーケティング機能・新商品開発の質的向上を図り、  
商品力・機能で差別化を目指す

3つの施策を土台として  
新商品を継続的に生み出すための体制・基盤を整備

#### 新商品創出システムの構築

マーケティング戦略の機能を  
集約し、新技術・新商品を  
継続的に創出するための組織  
体制・プロジェクト体制を構築

#### コア技術戦略

5つのターゲット市場×コア技術  
×基盤技術を明確化し、戦略  
的に新商品を投入

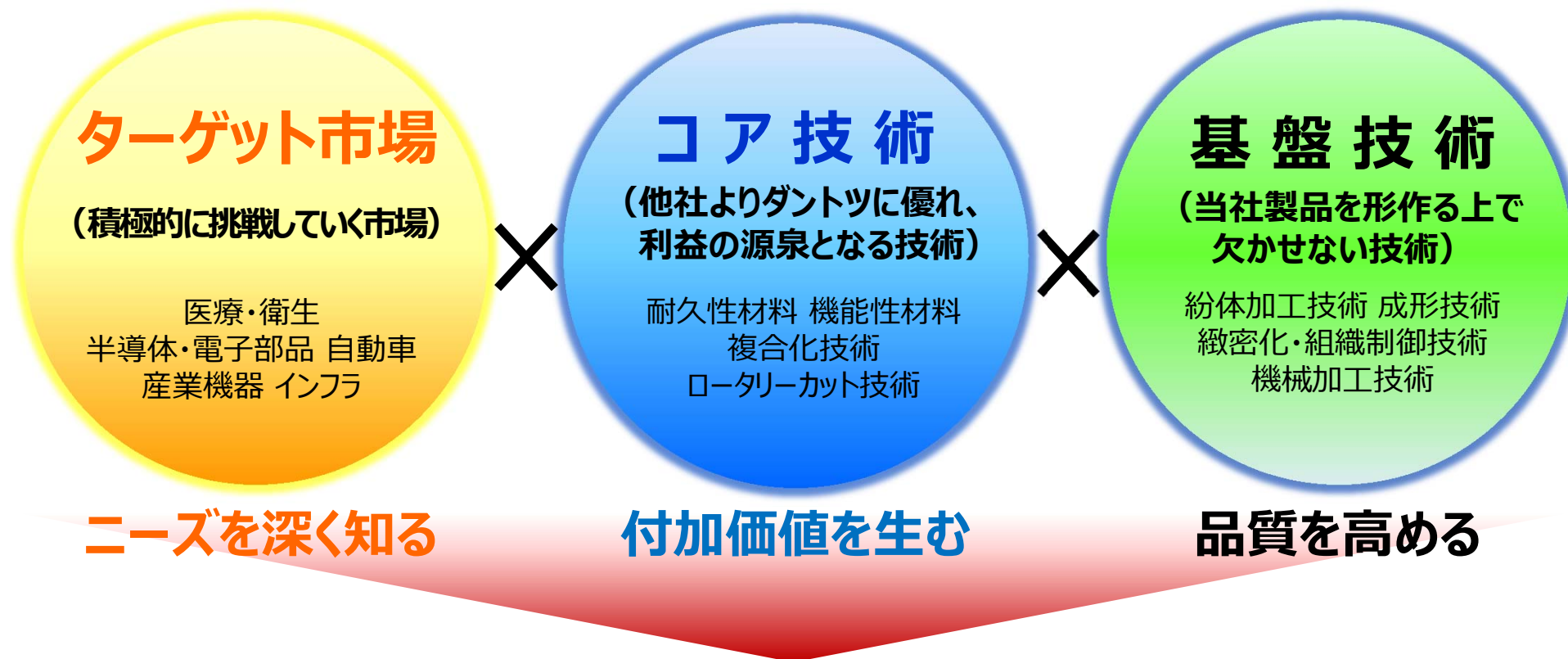
#### オープンイノベーションの活性化

学会・協議会活動、共同研究  
共同開発等の活性化

## 2.戦略の概要 2) 新商品戦略

### ● 施策の概要

#### 2 新商品の創出② (コア技術戦略)



# NO.1の価値創造に挑戦



## 2.戦略の概要 3) ものづくり戦略

### ● 施策の概要

#### 3 ものづくりの強化

#### 『コストリダクション活動』

全社連携してコストリダクション活動に  
効率良く取り組み、利益を創出する

#### ものづくり力強化 (現場力・技術力)

#### 『全社の技術力の結集』

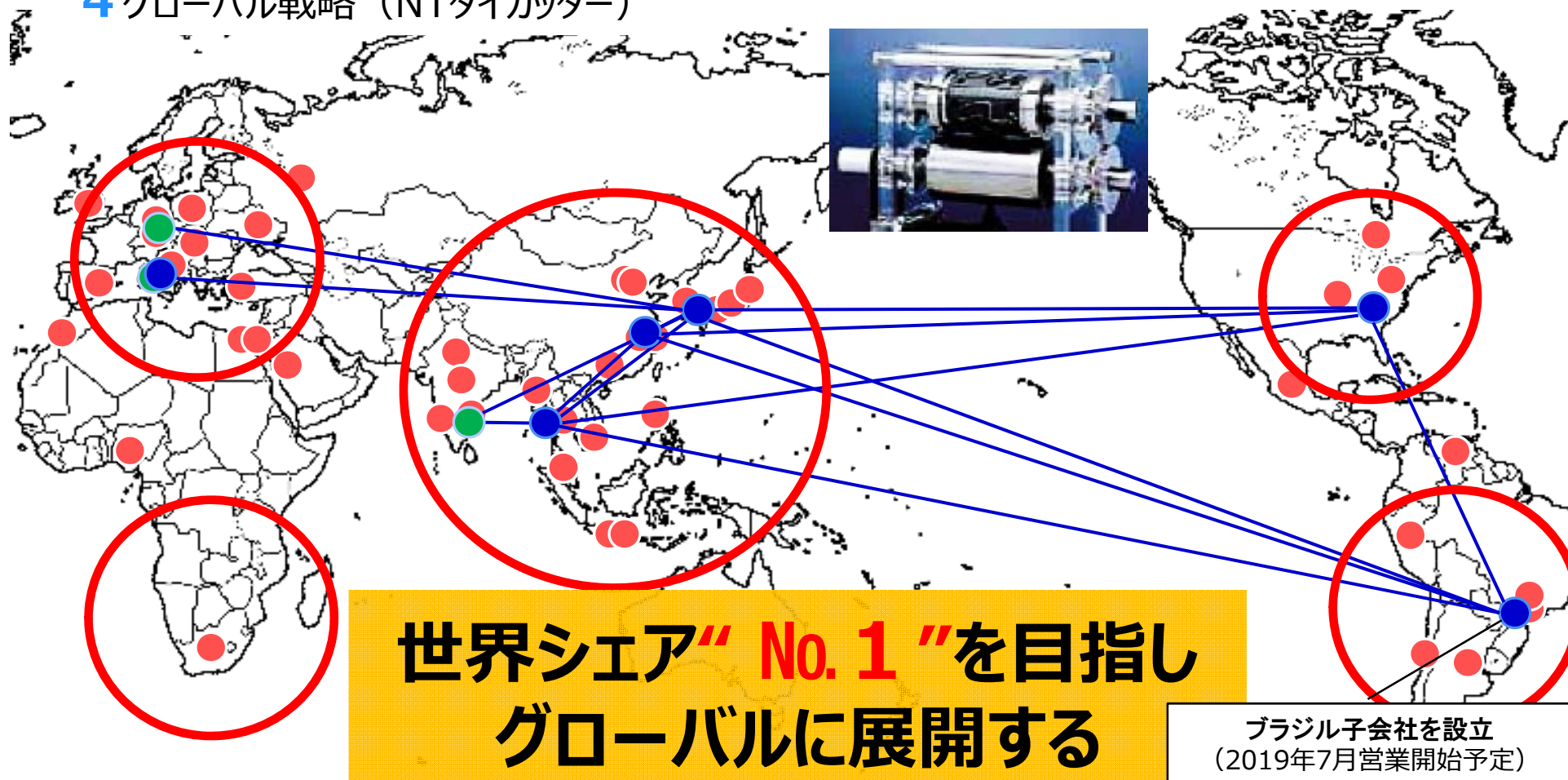
全社の知識と知恵(技術力)を  
結集し、製造プロセスを変革する

#### 『ものづくり人財育成』

力量や習得方法を明確化し、  
技能を効果的に向上させる

## ● 施策の概要

### 4 グローバル戦略（NTダイカッター）



グローバル市場のお客様（●）ニーズに対応し、販売拠点を展開し、アフターサービス拠点（●:グループ会社 ●:協力会社）を充実させることで、更なるシェアアップを目指します。

# 2020中期経営計画

## ● 基山工場の建屋増築工事が終了

N T ダイカッターの生産能力増強・今後の新製品増産を目的とした、基山工場の建屋増築工事が2018年3月に終了し、2018年5月に稼働を開始。

### 建屋の概況

- |          |         |
|----------|---------|
| (1) 所在地  | 佐賀県基山町  |
| (2) 建築面積 | 約4,100㎡ |
| (3) 竣工   | 2018年4月 |
| (4) 生産開始 | 2018年5月 |
| (5) 投資総額 | 約10億円   |

### 生産能力

今回の増築により、N T ダイカッターの生産能力は現在の2倍となる予定



増築した  
建屋

## ● 未来工数の創出

ロボティック・プロセス・オートメーション（RPA）を導入し、業務効率化を進め未来工数の創出を図る。

### RPA導入の概要

- ・2018年 3月：営業、経理、総務からテスト導入を開始
- ・2018年 6月：社内システム開発担当者の育成開始
- ・2018年10月：本格運用開始  
まずは、間接部門から開始し、製造部門へと拡大し、全社の展開を目指す

### 削減目標

初年度： 5,000時間/年  
3年目： 15,000時間/年

今後も、イントラネット導入等による業務効率化を進め、更なる未来工数の創出を検討する。



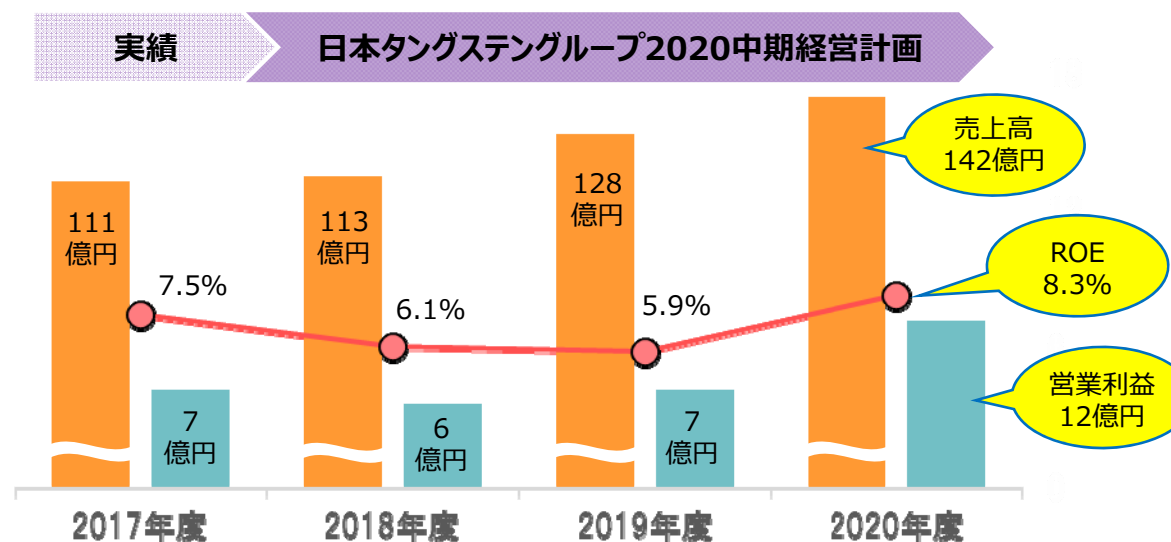
# 2020中期経営計画

## ● 計数計画

### 1 2020(最終)年度に目指す指標

連結売上高	142億円
連結営業利益	12億円
ROE	8.3%

### 2 連結業績目標の推移



# 2020中期経営計画

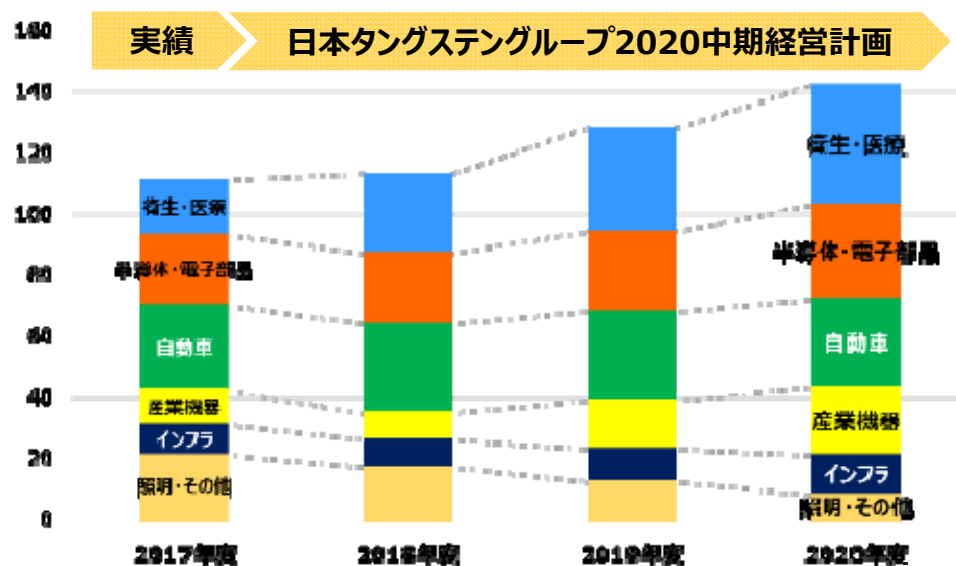
## ● 計数計画

### 3 5市場別の連結売上高目標

(単位：億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
衛生・医療	18	26	34	39
半導体・電子部品	23	23	26	31
産業機器	11	9	16	22
自動車	28	29	29	29
インフラ	10	9	11	13
照明・その他	21	17	12	8
計	111	113	128	142

(単位：億円)



2030年度目標  
230億円

創立100周年に向けて

2030年度



## ご静聴ありがとうございました。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。